



# 第8期「こども病院ボランティア養成講座」受講者募集

主催：NPO 法人 こども医療支援 わらびの会 後援：県立南部医療センター・こども医療センター

「県立南部医療センター・こども医療センター」では、20代～70代の方々がボランティアとして活動しています。『病院ボランティアってなんだろう？』 知ることからはじめてみませんか？

## ～ 活動の様子 ～



(小児外来クリスマス)



(ブレイルームでの活動)



(小児病棟盲導犬イベント)



(手作りプレゼント)

## ～ 養成講座の様子 ～



### ～受講者の声～

- ・いろいろな立場の方からの話を聞くことができとてもよかったです。
- ・安心して活動に入ることができそうです。
- ・私にも何かできることがあるということを知って嬉しかったです。
- ・思いを行動に移す必要性を感じました。
- ・県民としてこども病院のボランティアを広げたいと思いました。

開催日時：平成 21 年 11 月 21 日 (土) 9 時～17 時 (昼食は各自で用意。売店・食堂もあります)

開催会場：県立南部医療センター・こども医療センター

2 階講堂 (南風原町字新川 118-1)

対象者：病院ボランティアを希望する方・病院ボランティアに関心のある方

受講料：3,000 円 (学生は半額。振込み手数料のご負担をお願いします)

振込先：琉球銀行本店 口座番号 164461 普通預金 口座名 こども医療支援わらびの会

申込み方法：別紙申込書又はハガキかメール、FAX で必要事項を記入して下記へ送付

(必要事項：氏名・年令、職業、住所・電話・FAX・e-mail、応募の動機、ボランティア経験の有無)

定員  
25 名



**申込み〆切：平成 21 年 11 月 13 日 (金曜日) 必着**



### 講座の内容

- ・病院オリエンテーションと施設見学
  - ・私たちが望むボランティア
    - 看護の立場から — 高江洲スミ子 (こども医療センター・小児ボランティアコーディネーター)
    - 医師の立場から — 當間隆也 (こども医療センター・小児科医)
  - ・先輩ボランティアからの体験談 —小児外来の活動をとおして・小児病棟の活動をとおして— 先輩ボランティア
  - ・親の立場から感じたこと (親の会)
  - ・ボランティアに必要なマナー 喜久里美也子 (NPO 法人脳文庫代表)
  - ・病院ボランティアとは、看護の立場、きょうだいの支援から 藤村真弓 (茨城キリスト教大学看護部教授)
  - ・まとめ — こんなボランティアになりたい — 受講者全員による討論
- ※ボランティア実習・登録 (11 月または 12 月に予定)

### 【申込み・問合せ先】

NPO 法人 こども医療支援 わらびの会事務局

〒903-0804 那覇市首里石嶺町 4 丁目 373-1 沖縄県総合福祉センター内 西棟 2 階

TE&FAX：098-888-6605 E-mail：info@warabinokai.org

<http://www.warabinokai.org>